

## 静岡県東部地域企業経営動向調査

2008年7～9月期実績  
2008年10～12月期見通し

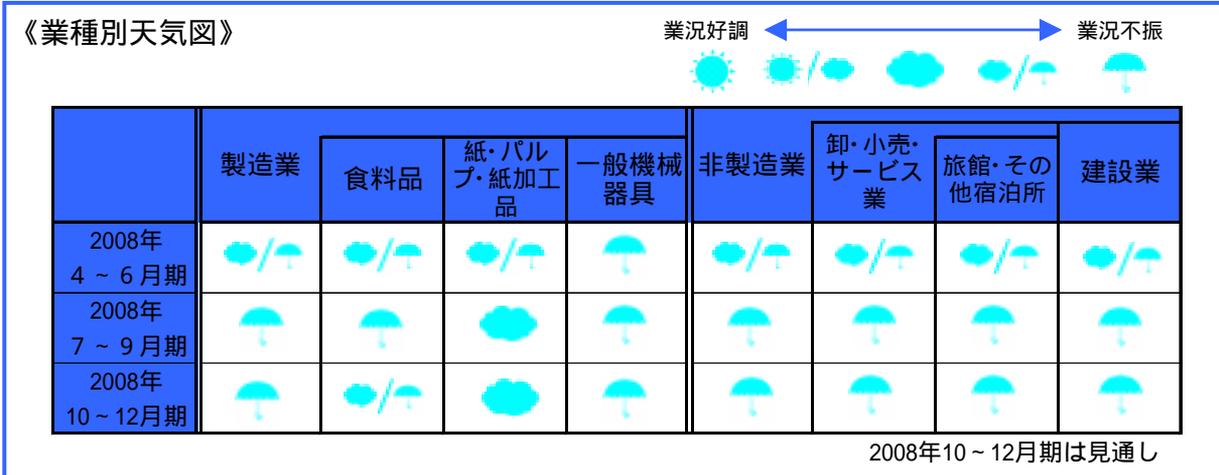
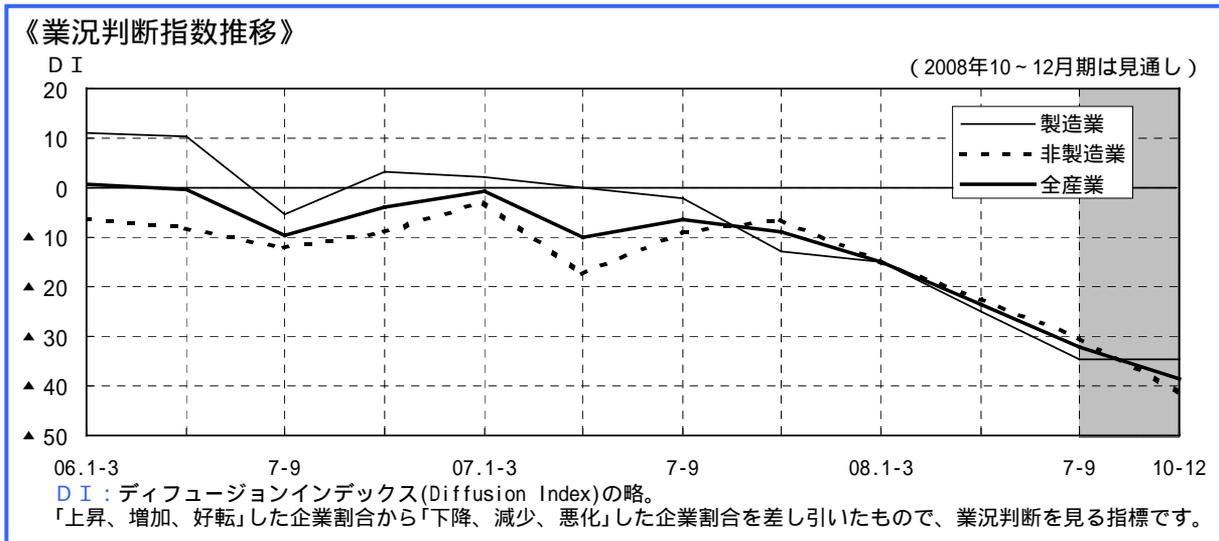
## 財団法人 企業経営研究所

〒411-0036 三島市一番町15-26  
TEL 055-981-3033 FAX 055-981-5888  
URL : http://www.srgi.or.jp

### 業況概要(自社) ～ 製造業・非製造業とも業況判断D Iの悪化が続く ～

静岡県東部地域における2008年7～9月期の業況判断D I(全産業)は、▲32.0(前期▲23.6)と悪化が止まらず、03年1～3月期以来のD I ▲30以下の水準となった。製造業の業況判断D Iは▲34.6(同▲25.0)、非製造業も▲30.5(同▲22.6)といずれも悪化している。原材料等の値上がりや受注・売上の停滞・減少等により、売上や利益のD Iも大幅に低下しており、全般的な業況判断は厳しさを増している。

2008年10～12月期の見通しは、製造業では横ばいを見込む一方、非製造業では一層の低下を予測することから、10～12月期の予測D I(全産業)も▲38.7とさらに低下が予想され、先行きへの期待感も弱い状態にある。



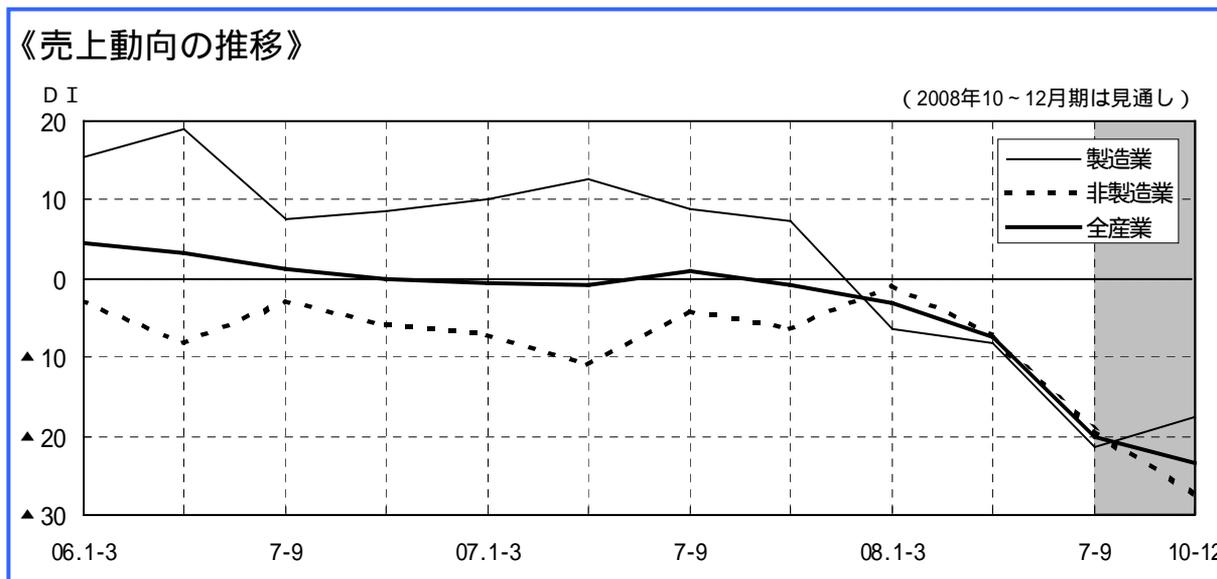
### 《調査の概要》

- |   |   |
|---|---|
| <p>1. 調査目的<br/>静岡県東部地域(富士川以東)の景気動向と先行きを予測し、主要産業の実態を把握</p> <p>2. 調査対象企業<br/>静岡県東部地域に立地する企業 1,040社<br/>回答数 285 (回答率 27.4%)<br/>業種別企業数は4ページ下段図表を参照</p> | <p>3. 調査方法<br/>当研究所の指定した項目につき、記名式で実績と見通しを記入するアンケート調査</p> <p>4. 調査対象期間<br/>実績:2008年7～9月期<br/>見通し:2008年10～12月期</p> <p>5. 調査時点<br/>2008年8～9月</p> |
|---|---|

**売上動向** 製造業、非製造業ともD Iが大幅に低下

2008年7～9月期の全産業の売上動向D Iは4期連続で低下し▲20.1（前期▲7.5）となった。製造業ではパルプ・紙・紙加工品のみD Iがプラスを維持したが、一般機械器具をはじめ金属製品や食品などが低下したため、全体D Iは▲21.3（同▲8.1）となった。一方、非製造業では建設業でD Iがやや改善（▲17.4）したが、旅館・その他宿泊所やその他小売・サービス業の落ち込みが大きく影響し、全体では▲19.3（同▲7.1）と低下している。

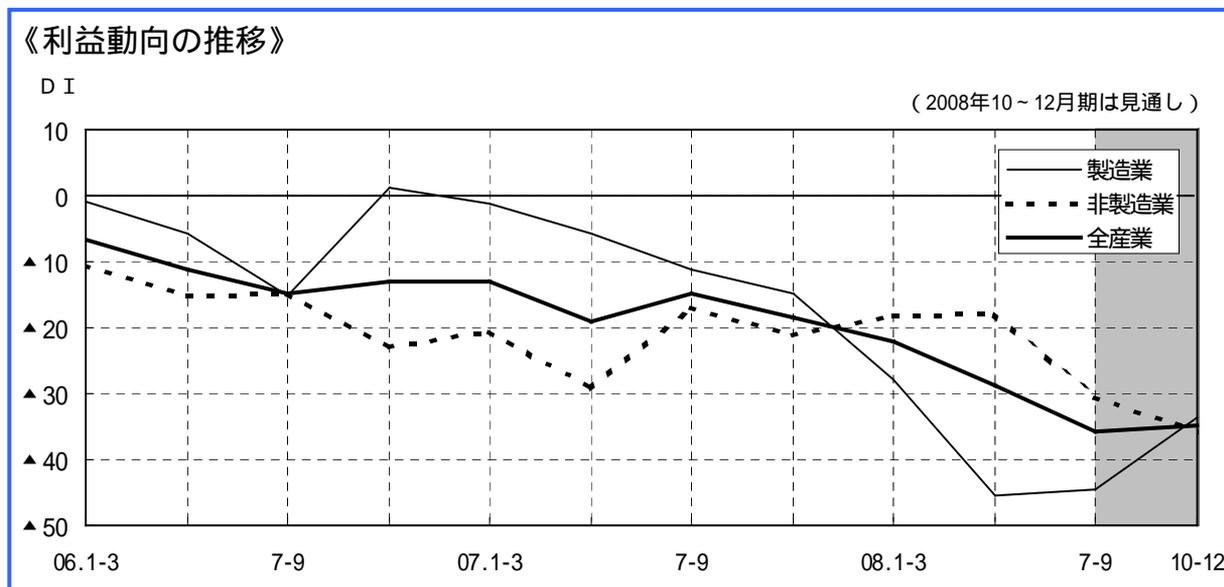
2008年10～12月期（見通し）の予想D Iは全産業で▲23.5となり、やや低下が予測されている。特に非製造業で▲27.1とさらなる下落を見込んでおり、先行きへの見方は厳しい。



**利益動向** 製造業のD Iは低水準で推移、非製造業は大幅に低下

2008年7～9月期の全産業の利益動向D Iは▲35.8（前期▲28.9）と4期連続で低下した。うち、製造業はパルプ・紙・紙加工品や一般機械器具でD Iが若干上向いたが、食品や金属製品ではD Iが低下し、全体では▲44.4（同▲45.5）と引続き低水準で推移した。一方、非製造業の全体D Iは▲30.5（同▲17.9）と大幅に低下した。特にその他小売・サービス業等でD Iが▲30.8（同▲11.2）と低下している。

2008年10～12月期（見通し）のD Iは、全産業で▲35.0とほぼ横ばいが見込まれている。うち製造業では▲33.6と反転上昇への期待が強いが、非製造業では▲35.8と続落が予測され、見方は分かれている。

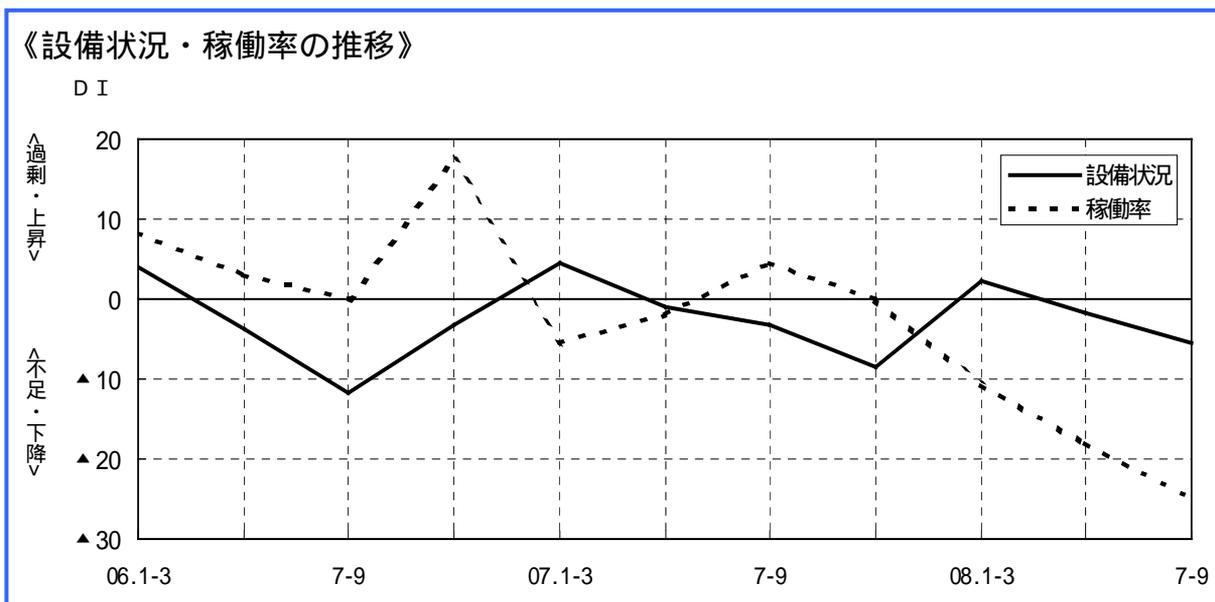


**設備状況・稼働率  
(製造業)**

**設備状況はやや「不足」、稼働率はさらに「下降」**

2008年7～9月期の設備状況DIは、その他の製造業では「過剰」感を強めたが、食料品やパルプ・紙・紙加工品で「不足」感が強まり、金属製品や一般機械器具でも「不足」に転じた結果、▲5.6(前期▲1.8)と前期に引続き低下し、やや「不足」感が示された。

一方、稼働率DIは▲25.0(同▲18.0)と4期連続して下降し、02年10～12月期以来の水準となった。一般機械器具では「下降」度が緩和したが、パルプ・紙・紙加工品や金属製品ではさらに「下降」している。

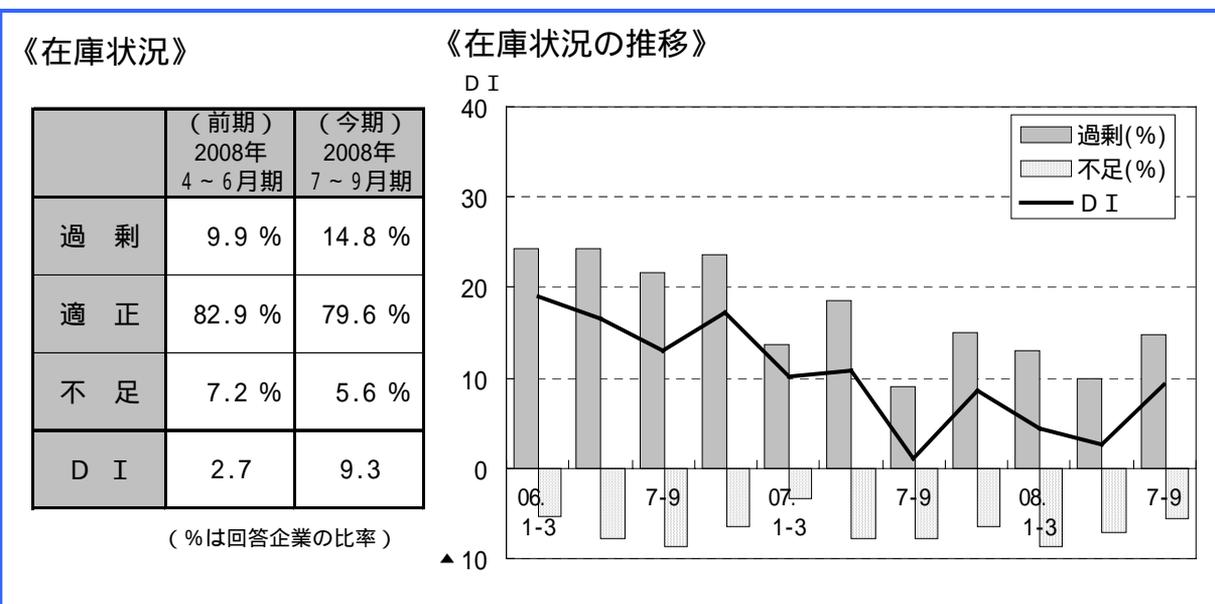


**在庫状況  
(製造業)**

**DIが上昇に転じ、在庫過剰感がやや高まる**

2008年7～9月期の在庫状況(製造業)DIは9.3(前期2.7)と上昇に転じ、在庫過剰感がやや高まった。「過剰」とする企業の割合が14.8%(同9.9%)と増加する一方、「適正」の回答比率は79.6%(同82.9%)に減少しており、やや在庫が積み上がる傾向が現れている。

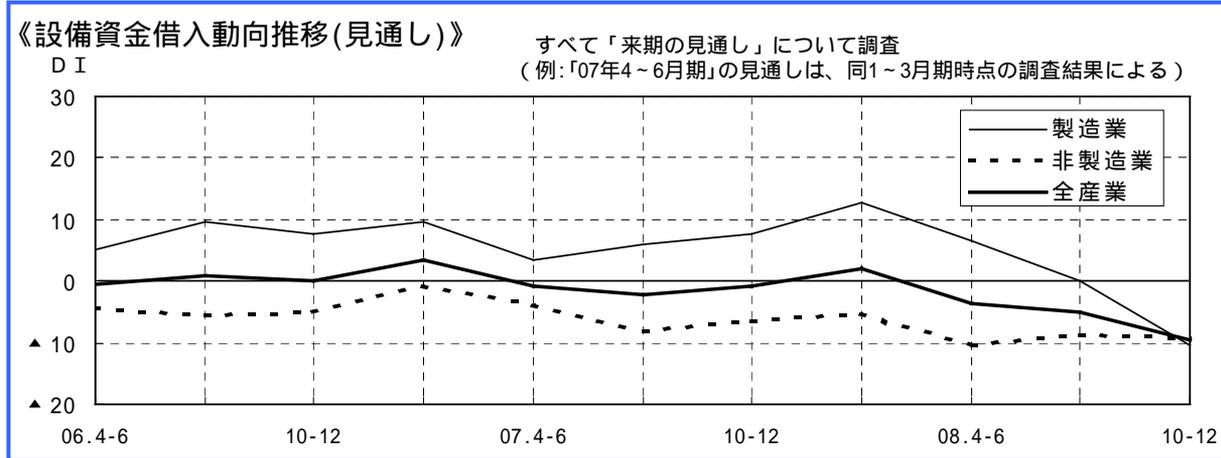
業種別では、一般機械器具ではDIが概ね横ばいで推移しているが、食料品や金属製品でDIが上昇し、「過剰」感を強めている。またパルプ・紙・紙加工品でもDIのマイナス幅が縮小し、「不足」感は弱まる傾向にある。



設備資金借入  
動向(来期)

製造業のD Iが大幅に低下、借入抑制の基調に転じる

2008年10～12月期(来期)の全産業の設備資金借入動向(見通し)DIは▲9.7(前期▲5.1)と3期連続して低下した。うち製造業のDIは▲10.3(同0.0)と05年4～6月期(見通し)以来のマイナスとなり、借入抑制の基調に転じている。一方、非製造業も▲9.3(同▲8.6)とわずかながら低下している。



経営上の問題点

「受注・売上の停滞・減少」比率が大幅に上昇

引続き「原材料・仕入れ商品の値上がり」が1位を占めているが、「受注・売上の停滞・減少」の回答比率が前期比7.2ポイントと大幅に上昇した他、「その他経費の増加」も同3.9ポイント上昇している。原油を中心とした原材料価格の高騰が様々な経費を上昇させ、受注・売上の減退、さらに業況感の後退に波及している構図が鮮明になってきている。

《経営上の問題点(上位8項目)》

(社、%)

問題点	08年1～3月期		08年4～6月期		08年7～9月期		順位変動
	企業	割合	企業	割合	企業	割合	
1. 原材料・仕入商品の値上がり	144	61.8	181	64.6	169	59.3	
2. 受注・売上の停滞・減少	108	46.4	142	50.7	165	57.9	
3. 人材の育成	69	29.6	93	33.2	95	33.3	
4. 過当競争・製品安	79	33.9	91	32.5	91	31.9	
5. その他経費の増加	48	20.6	55	19.6	67	23.5	
6. 生産・販売能力の不足	34	14.6	46	16.4	43	15.1	
7. 従業員の高齢化	54	23.2	49	17.5	42	14.7	
8. 求人難	29	12.4	38	13.6	34	11.9	

《業種別：回答企業数およびDI》

設備資金は来期の見通し、それ以外は今期実績

業種	企業数	売上動向	利益動向	設備状況	稼働率	在庫状況	設備資金
食料品	14	▲28.6	▲57.1	▲28.6	▲7.1	21.4	▲14.3
パルプ・紙・紙加工品	14	57.1	▲14.3	▲14.3	▲7.1	▲14.3	▲14.3
金属製品	15	▲26.7	▲46.7	▲6.7	▲46.7	13.3	▲26.7
一般機械器具	20	▲50.0	▲55.0	▲5.0	▲15.0	10.0	▲5.0
その他製造業	45	▲28.9	▲44.4	4.4	▲33.3	11.1	▲4.5
製造業計	108	▲21.3	▲44.4	▲5.6	▲25.0	9.3	▲10.3
旅館・その他宿泊所	14	▲42.9	▲42.9	-	-	-	14.3
その他小売・サービス業等	117	▲17.2	▲30.8	-	-	-	▲5.3
卸・小売・サービス業計	131	▲20.0	▲32.1	-	-	-	▲3.1
建設業計	46	▲17.4	▲26.1	-	-	-	▲26.7
非製造業計	177	▲19.3	▲30.5	-	-	-	▲9.3